

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）

会沢 泉、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、大井美智子、
大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、神木光治、川部栄子、小林こずい、小山東ミ子、
斎藤尽志、酒井 昭、佐久間ひろ子、佐々木定男、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、
瀬戸加代子、高木千恵子、高橋明美、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、
野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、
若林紀美代。

〈整理作業参加者〉（敬称略）

石垣ゆき子、小澤千恵子、小林登喜江、斎藤尽志、須藤さち子、杣木嘉図子、高橋けい子、
丹治つや子、富岡康子、中田藤子、中野和子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図	1:300
遺物出土状況図	1:80
遺構平面図	1:60
炉などの詳細図	1:30
土器実測図	1:4
土器拓影図・石器実測図	1:3

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。（単位はm）

(3) 遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ（cm）を示す。

2. 住居跡名・土坑名・集石名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 胎土粒子に関する各項の基準は次のように定めた。

小礫；2.0mm以上、粗砂；0.2～2mm、細砂；0.2mm以下。

4. 本書では、岩宿時代を使用した。これは、先土器時代・無土器時代・旧石器時代などと言われているものである。発見遺跡名を時代名とした。

5. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

2 1993年度 埋蔵文化財試掘調査一覧

No.	遺 跡・地 点	所 在 地	面 積(m ²)	原 因	調 査 期 間
1	西ノ原遺跡第63地点	苗間 162-3,169	147	共同住宅建設	4/13~4/22
2	中沢前遺跡第6地点	苗間 202-1	506	個人住宅建設	4/23~4/26
3	西ノ原遺跡第64地点	苗間 94-1	327.05	共同住宅建設	4/27~4/28
4	神明後遺跡第1地点	苗間 281-1	615.47	共同住宅建設	5/6~5/11
5	神明後遺跡第2地点	苗間 295-2,299-3	1,688	道路築造	5/12~5/20
6	大井戸上遺跡第2地点	大井 701-1	350	個人住宅建設	6/11~6/15
7	西ノ原遺跡第65地点	苗間 145-1	615	共同住宅建設	6/7~6/11
8	西ノ原遺跡第66地点	苗間 133-2	474	共同住宅建設	6/30~7/19
9	本村遺跡第30地点	大井 155	411	個人住宅建設	7/28~8/30
10	本村遺跡第31地点	大井 154,155	484.19	共同住宅建設	8/4~8/5
11	東久保西遺跡第2地点	亀久保 419-1 他	75	竪坑工事	8/24~8/26
12	小田久保遺跡第1地点	大井 1,249-1	498.97	個人住宅建設	9/21~10/1
13	亀居遺跡第35地点	亀久保 1,012-7	470	個人住宅建設(曳家)	9/28~11/5
14	本村遺跡第32地点	大井 351	14,310	共同住宅建設	11/9~11/25
15	本村遺跡第33地点	大井 107,427-1	337	駐車場造成	11/11
16	中沢前遺跡第7地点	苗間 202-1,202-3	687	駐車場造成	11/26~11/29
17	東台遺跡第20地点	大井 649-27	5	個人住宅建設	1/30
18	本村遺跡第34地点	大井 533-5	1,013	共同住宅建設	12/2~12/3
19	西台遺跡第2地点	大井 897-1, 897-2	6,149	遊技場建設	12/13~3/31
20	西ノ原遺跡第67地点	苗間 159-2	308.05	倉庫建設	1/20~1/21
21	亀居遺跡第36地点	鶴ヶ岡 1-2-2	798.11	礼拝所建設	2/17~2/18
22	中沢前遺跡第8地点	苗間 206-2	137	事務所建設	2/3~2/4
23	苗間東久保遺跡第19地点	苗間 637-14,15,16	350	分譲住宅建設	2/8~2/15
24	亀居遺跡第37地点	亀久保 1,003-2,-6 他	566	店舗併用住宅	2/18~2/25
25	東台遺跡第21地点	大井 713-11,12	299.94	個人住宅建設	3/7~3/11
26	西ノ原遺跡第68地点	苗間字西ノ原 91-2,6	285	店舗併用住宅	3/22~3/25
27	江川東遺跡第1地点	東久保 1-145-14	52.38	個人住宅建設	3/24~3/25
合 計			31,959.16m ²		

調査地は、苗間地区12件、大井地区10件、亀久保地区3件、鶴ヶ岡地区1件、東久保地区1件である。遺跡別では西ノ原遺跡6件、本村遺跡5件、亀居遺跡3件、中沢前遺跡3件、神明後遺跡2件、東台遺跡2件、大井戸上遺跡1件、東久保遺跡1件、小田久保遺跡1件、西台遺跡1件、苗間東久保遺跡1件、江川東遺跡1件であった。

のための精査を行なったところ、黒色土の落ちこみが各トレンチで認められた。落ちこみの性格・深さを確認するためトレンチの幅内で調査を行なった。その結果、歴史時代の建物跡、堀、井戸跡等であることが判明した。遺物は、カワラケ、常滑片、銅銭等が出土した。その後、本調査に移行することを考慮して、現地表面からの土層図をすべてのトレンチを記録化し、遺構の壁を保護するために遺構内に土のうを詰め、ビニールシート・板をかけて保護し1993年5月20日に発掘調査を終了した。

確認調査の結果にもとづき事業者である大井町と協議を行ない、開発予定区域全域を原因者負担による本調査を実施することとなった。このため大井町教育委員会社会教育課を事務局とする大井町遺跡調査会に調査を幹旋し、1993年5月12日から5月20日まで本調査を行なった。その結果、ほぼ開発予定地全域から縄文時代の陥穴1・土坑1、平安時代の住居跡1軒、歴史時代の井戸2・地下式墳1・方形遺構8・堀1・建物跡等の遺構を発見した。(現在整理作業中)

7 なえ まひがしく ぼ 苗間東久保遺跡第19地点

埼玉県遺跡 No.30-020

1994年1月17日付けで、分譲住宅建設に伴う「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は、遺跡推定範囲のほぼ中央部に位置し、十分に遺構の所在が予想される地点で、隣接する東及び北側で、既に発掘調査で縄文時代の住居跡をはじめとする遺構群が多数発見されている。町教育委員会は、この点を事業者に対して理解を求め、2月8日から確認調査を実施することとした。

遺構の密度と、所在を確認するための調査と位置づけ、その後の本調査の事も鑑み、まず表土を約20cm程度を全面重機で鋤取った。その後2m方眼のグリッドを設定し、南北方向に南からA～J、東西方向に東から0～30の名称を付した。

調査は、排土処理を地権者の好意で隣地におけたため、円滑に進められた。本遺跡は縄文時代後期を主体とする遺跡で、しかも遺物包含層まで比較的浅いため、現地表下約25cm位から暗褐色土の該期特有の包含層を確認した。ただ、遺構のプラン確認までは、もう少し調査で掘り下げねばならず、2月16日に全部の遺構のプランをおさえるまでは、確認調査の範囲内で行なった。

その後継続して、3月25日まで原因者負担による本調査を行なうこととした。

発掘調査の結果、縄文時代早期の陥穴1、縄文時代後期(称名寺式期)の住居跡1軒・同期の土墳5基・ピット群等の遺構並びに該期の土器を発見した。

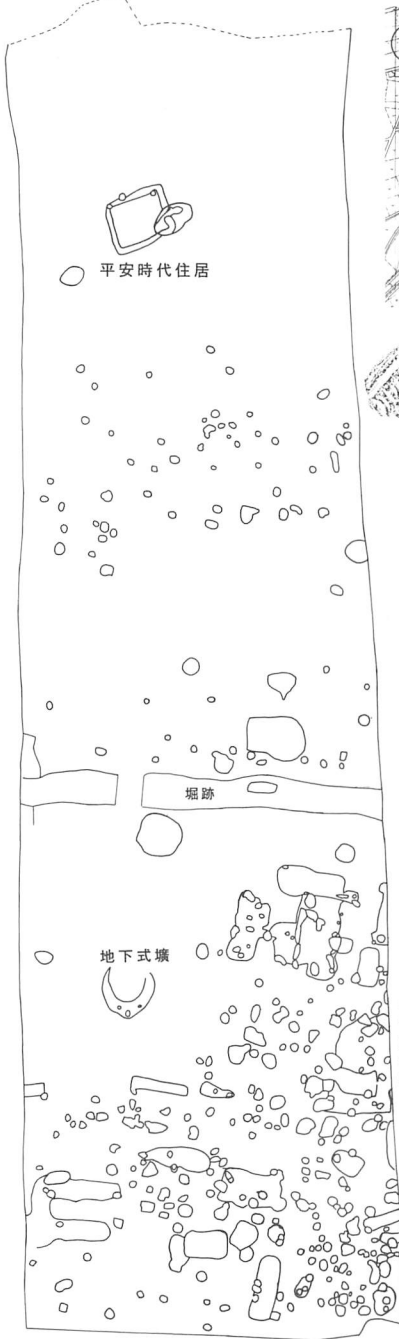
8 お だ く ぼ 小田久保遺跡第2地点

埼玉県遺跡 No.30-040

本遺跡は2回目の調査である。町内でもっとも内陸部に位置し砂川堀の左岸の西斜面から低位台地にかけて東西200m、南北100mほどの規模を有する縄文時代の複合遺跡である。標高26～25m。耕作中に採集された遺物によると、中期前半から同後半にかけての土器片が多く、当該期の集落が主体をなしていると思われるが、前期の黒浜式期の土器も注目される。

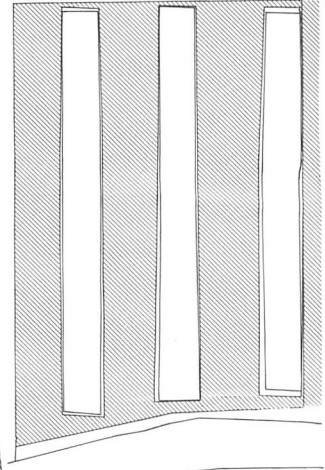
確認調査は、第5図のように幅2mのトレンチを4本設定し、重機にて表土を除去し、ローム面まで下げた。その後10月1日に遺構確認の精査を行なった。表土中より若干の縄文土器(勝坂式)の微細片と打製石斧が出土したが、遺構の存在は確認できなかった。

神明後遺跡



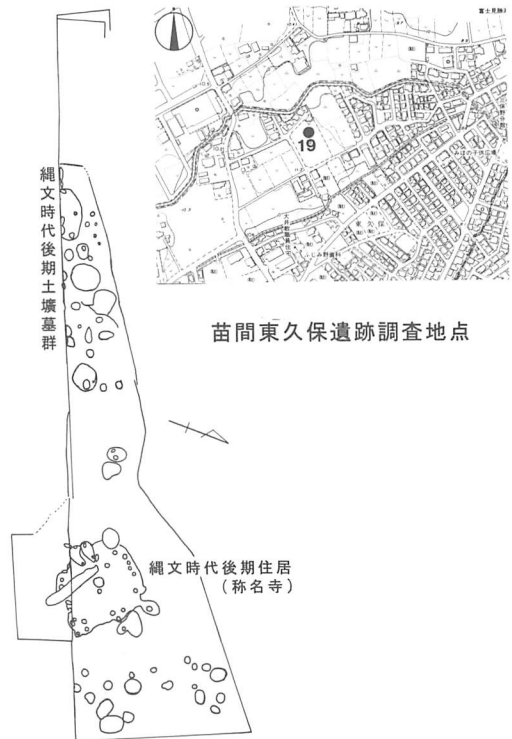
神明後遺跡第2地点遺構配置図 (1/400)

小田久保遺跡



小田久保遺跡第2地点

苗間東久保遺跡

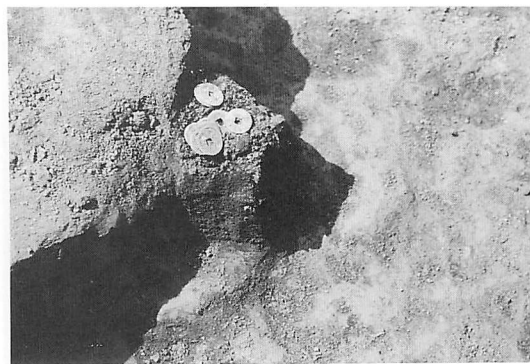


苗間東久保遺跡第19地点遺構配置図 (1/400)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 m



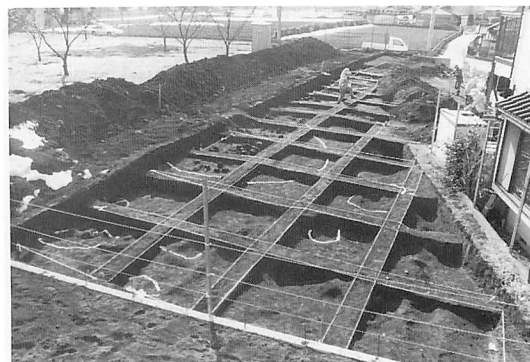
神明後遺跡第2地点・遺構確認状況



土坑土層

神明後遺跡第2地点

銅銭出土状況



苗間東久保遺跡第19地点・遺構確認状況



小田久保遺跡第2地点・トレンチ

凡 例

1. 本書の遺構挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺はその都度図中に示している。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔を示す。
- (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。



2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

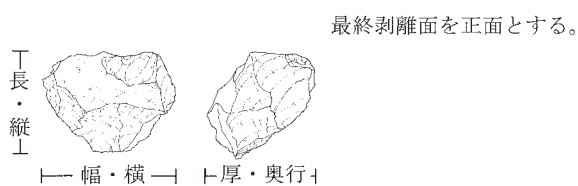
3. 本書の遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 遺物番号は地点ごとに1からはじまる。
- (2) 砥石実測図の断面における矢印の表示は、実線が砥面を、一点鎖線が加工痕の残存面を表す。
- (3) 遺物実測図におけるscreen-toneの指示。

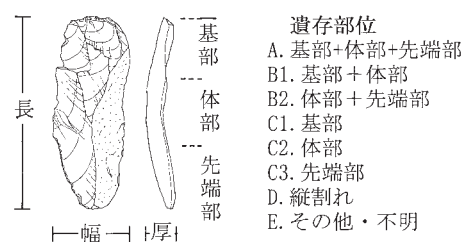


(4) 出土遺物観察表に記載した計測部位及び遺存部位は以下のとおりである。

〈石核〉

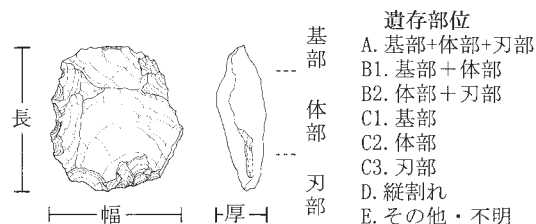


〈剥片・その他の剥片石器およびRF〉



- 遺存部位
- A. 基部+体部+先端部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+先端部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 先端部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈スクレイパー(石匙を含む)〉



- 遺存部位
- A. 基部+体部+刃部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+刃部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 刃部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈石鏃〉

素材剥片の背面を上面とする。



- 遺存部位
- A. 先端部+体部+両脚
 - B. 先端部+体部+片脚
 - C1. 先端部+体部
 - C2. 両脚+体部
 - C3. 片脚+体部
 - D1. 先端部
 - D2. 体部
 - D3. 両脚
 - D4. 片脚
 - E. 縦割れ
 - F. その他・不明

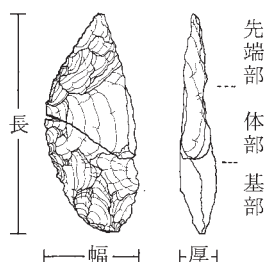
〈ナイフ形石器/尖頭器〉

ナイフ形石器



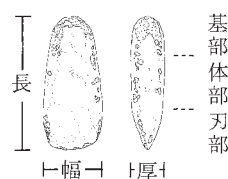
- 遺存部位
- A. 基部+体部+先端部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+先端部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 先端部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

尖頭器



磨製石斧

〈磨製石斧/打製石斧〉



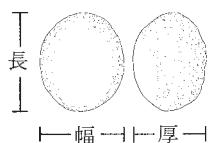
- 遺存部位
- A. 基部+体部+刃部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+刃部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 刃部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

打製石斧



〈磨石/凹石〉

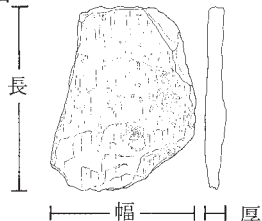
磨石



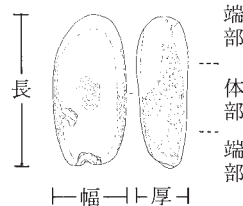
遺存部位

- A. 完形
- B. 残存率 3/4～
- C. 残存率 1/2～3/4
- D. 残存率 1/4～1/2
- E. 残存率 1/4以下

凹石



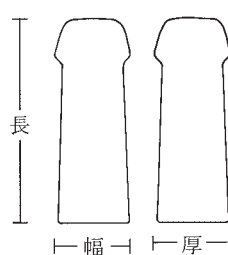
〈敲石/石錘〉



端部
体部
端部

- 遺存部位
- A. 端部+体部+端部
 - B. 端部+体部
 - C1. 端部
 - C2. 体部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈石棒〉



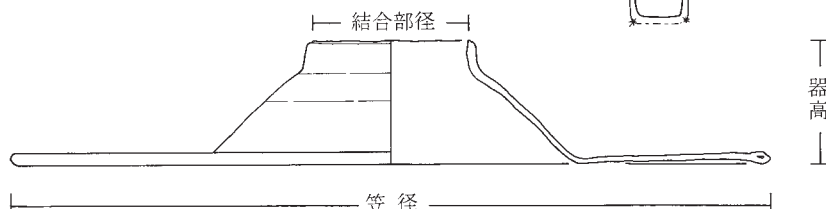
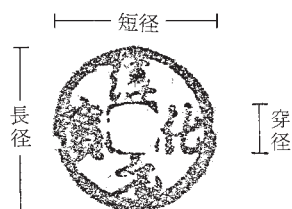
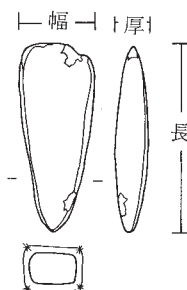
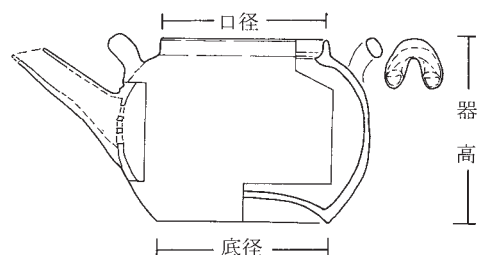
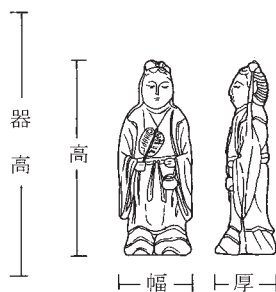
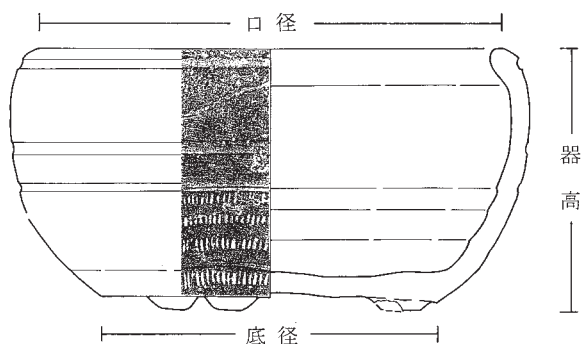
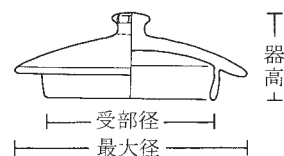
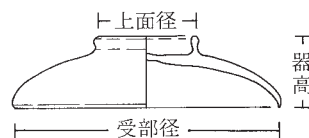
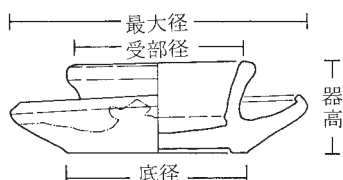
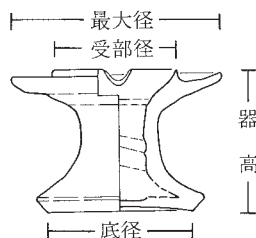
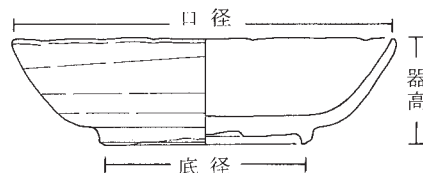
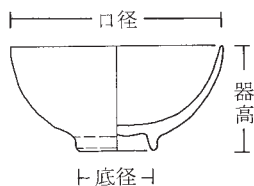
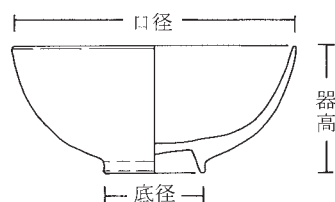
先端部
体部
基部

- 遺存部位
- A. 先端部+体部+基部
 - B1. 先端部+体部
 - B2. 体部+基部
 - C1. 先端部
 - C2. 体部
 - C3. 基部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈碎片〉

長さ、幅、厚さ ともに最大を計測。

〈陶磁器/土器/銭貨/ガラス製品〉



IV 苗間東久保遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境（第78図）

苗間東久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、さかい川の谷頭部から約1800m下った右岸、さかい川と浄禅寺川に挟まれた台地の縁辺部に位置し、標高10～11m、現谷底との比高差は1～1.5mを測る。さかい川と本遺跡をのせる南側台地の間に、緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は畑が多くみられたが、ふじみ野駅の開設に伴い、個人住宅などの小規模な開発が進みつつある。

周辺の遺跡は、さかい川上流に富士見市中沢遺跡、下流に富士見市外記塚遺跡、浄禅寺対岸には浄禅寺跡遺跡がある。本遺跡の最初の調査は1979年に開発に伴う緊急調査として行われた。2004年6月現在21地点で試掘調査及び発掘調査が行われており、これまでの調査で縄文時代中期後半～後期中葉の住居跡、落とし穴、土坑、集石土坑、ピット等が多数確認されている。

2 苗間東久保遺跡第19・20地点

苗間東久保遺跡第19・20地点は隣接しているため、両地点をまとめて報告する。

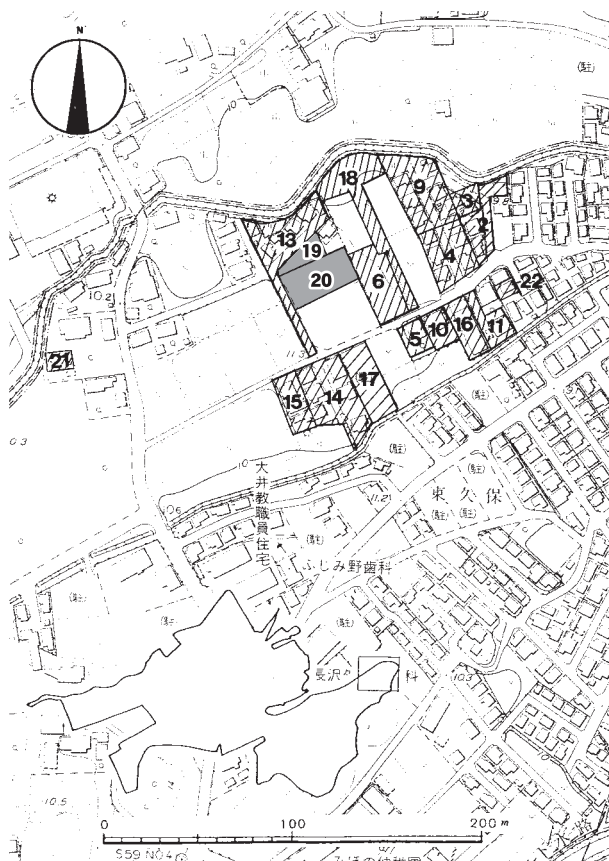
（1）第19地点の調査の概要

本地点は苗間東久保遺跡のほぼ中央やや北側に位置し、南側が第20地点、北側が第13地点と接している。

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者から1994年1月17日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中心部に位置するため試掘調査が行われた。2月8日に重機により表土を除去した後2mの方眼グリッドを設定し、人力による精査を行った。現地表面下約25cm位から遺構のプランが見え始め、2月16日に全部の遺構プランを確認し終えた。その後継続して3月25日まで本調査が行われた。

（2）第19地点の遺構と遺物（第79～84・91・92図、第31・33～35表、図版39～41・66）

調査の結果、縄文時代早期の落とし穴1基、縄文時代後期（称名寺式期）の住居跡1軒・土坑5基・ピット39基を検出した。出土遺物は主に縄文時代の石鏃・打製石斧・石皿・磨石などの石器や、中期末から後期後半までの縄文土器が出土している。



第78図 苗間東久保遺跡の地形と調査区（1/4,000）

（3）第20地点の調査の概要

本地点は苗間東久保遺跡のほぼ中央に位置し、東側が第6地点、西側が第13地点、北側が第19地点と接している。

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者から1998年3月2日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中心部に位置し、また周辺地域の調査結果から第20地点にも遺構遺物の存在が予想されたため、3月18日より試掘調査が実施された。調査区の短軸方に幅約2mのトレンチが3本設定され、重機により表土が除去された後、3月24日まで人力による精査が行われた。

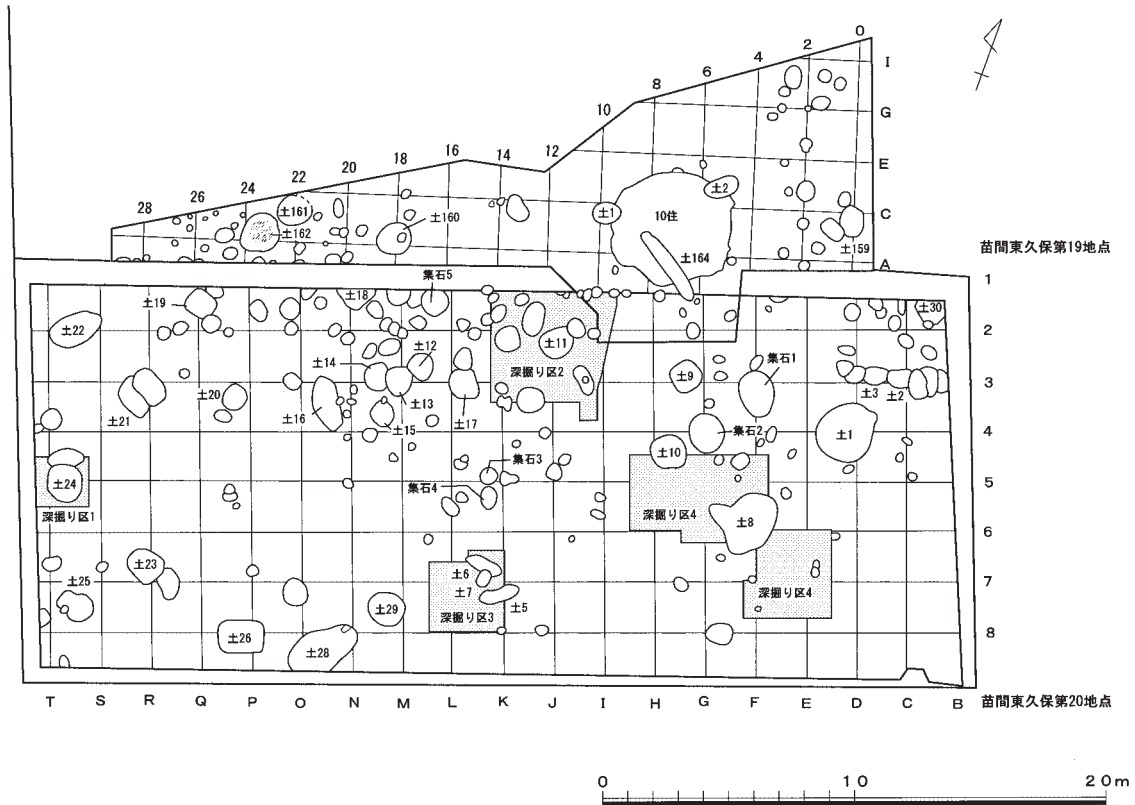
その結果、多数の遺構と遺物が確認されたため、大井町遺跡調査会を主体として6月15日から8月13日まで本調査が行われた。

（4）第20地点の遺構と遺物（第79～81・85～90・93～97図、第32・36・37表、図版41～46・66～69）

検出された遺構は土坑28基・集石土坑5基・ピット128基、出土遺物は主に縄文時代の石鏃・打製石斧・

石皿・磨石などの石器や、中期末から後期後半までの縄文土器が出土している。また、旧石器時代の石器が出土しているが、後世の攪乱のために原位置をとどめ

ていない。遺構外からは、近世の泥面子と人形が出土している。(花岡秀雄)



第79図 苗間東久保遺跡第19・20地点遺構配置図 (1/300)

第31表 苗間東久保遺跡第19地点遺構観察表

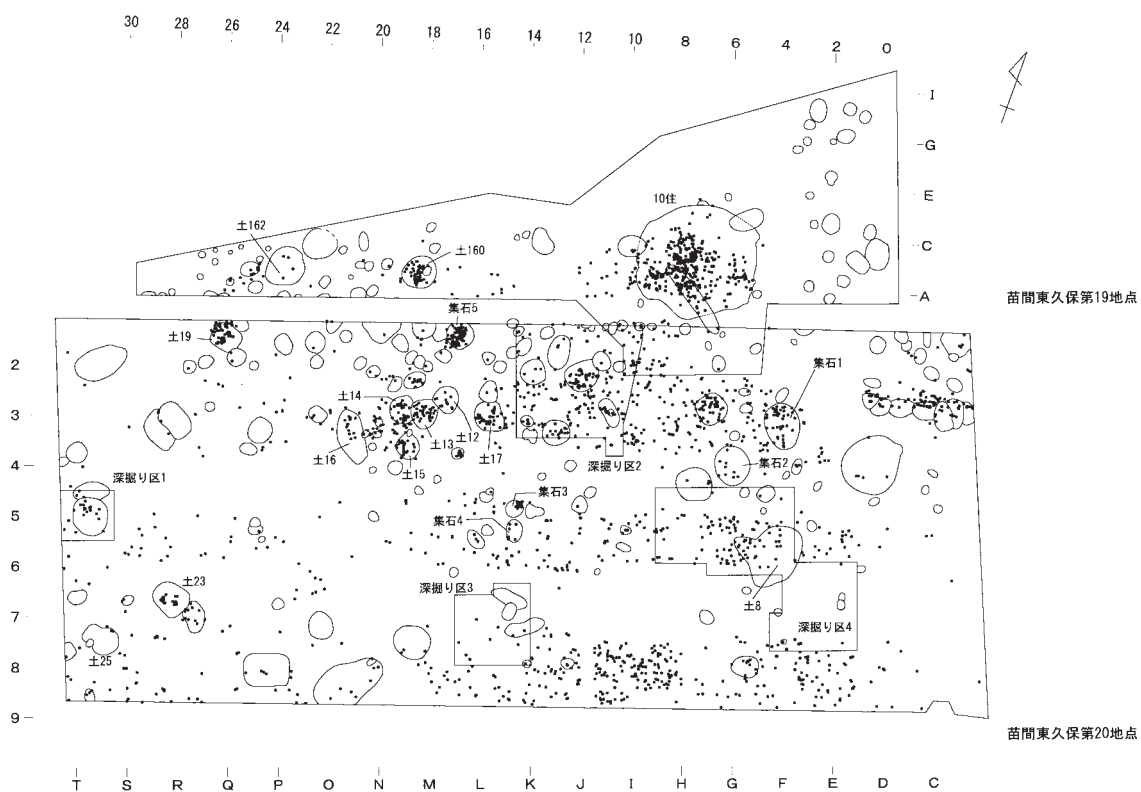
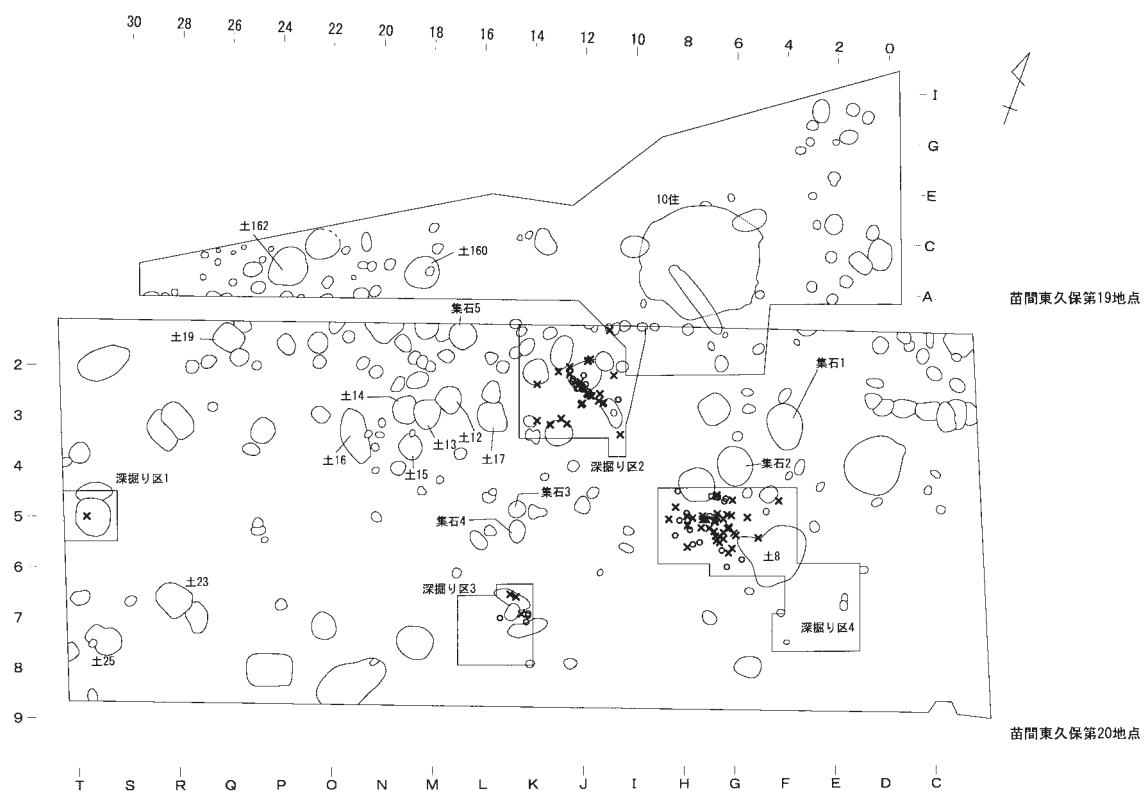
() は残存値、備考欄の写番号は写真図版番号

図版番号	遺構名	形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出土遺物	備考
82	10号住居跡	柄鏡形	4.60	4.42	0.42	土器1、瓦2、土製品1、石器14、礫109	縄文/住居跡/土坑164を切る/写39・40
83	土坑159	楕円	1.36	0.96	1.46	—	縄文
	土坑160	方形	1.46	1.22	0.26~0.52	石器2、礫31、土器1	縄文/写40
	土坑161	楕円	1.38	1.46	0.44	—	縄文/写40
84	土坑162	楕円	1.70	1.54	0.52	—	縄文/1層に焼土を多量に含む/写40
	土坑164	長楕円	3.42	0.56	1.44	—	縄文/落とし穴/10号住居跡に切られる/写41

第32表 苗間東久保遺跡第20地点遺構観察表

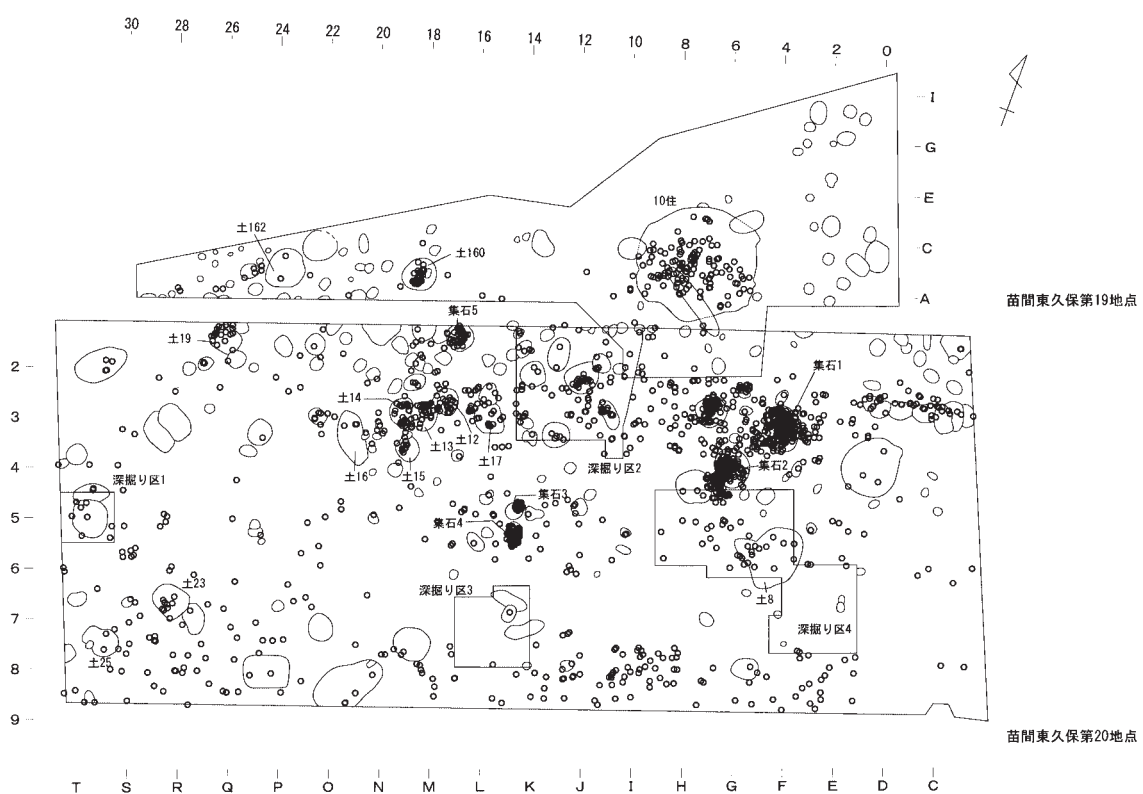
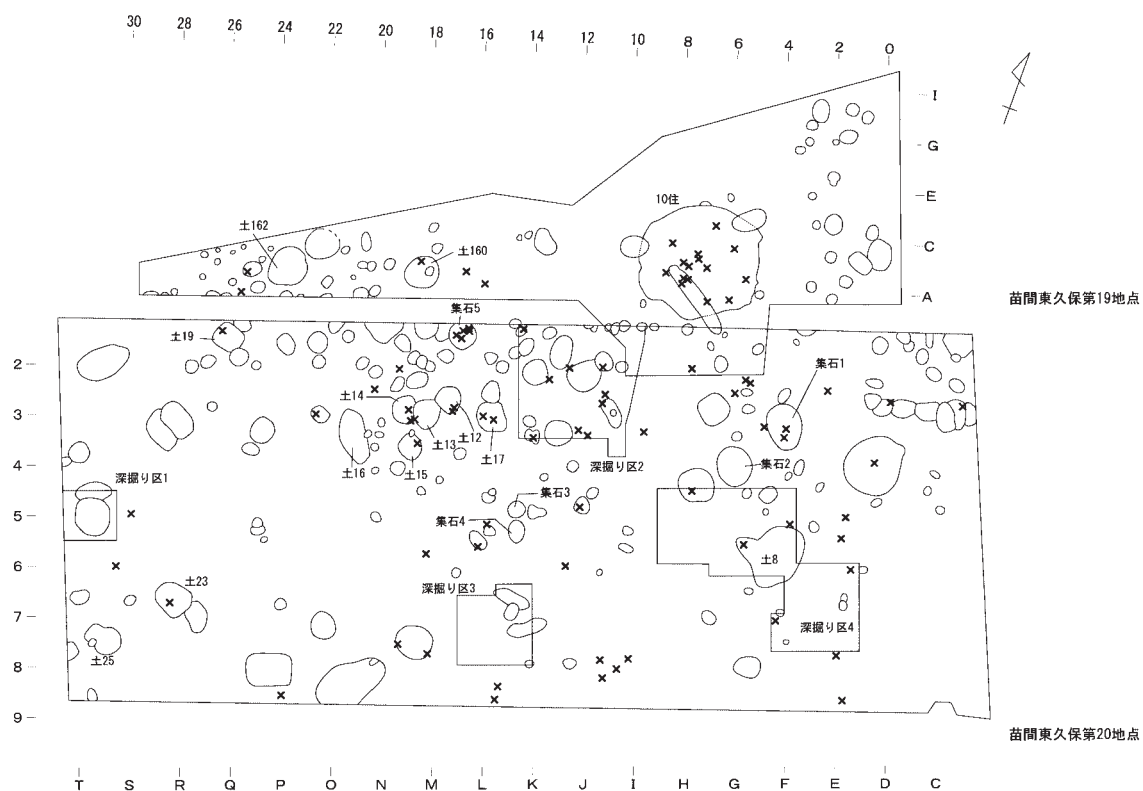
() は残存値、備考欄の写番号は写真図版番号

図版番号	遺構名	形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出土遺物	備考
85	土坑2	—	(2.32)	1.40	0.68~0.72	土器(中期末~後期前半)、石器1	縄文/土坑3に切られる/写42
	土坑3	楕円	1.98	0.84	0.66	土器(中期末~後期前半)、石器1(縄文)	縄文/土坑2を切る/写42
86	土坑9	円	1.42	1.36	0.90	土器(称名寺式)、礫1(縄文)	縄文/写42
	土坑10	楕円	1.58	1.30	0.08~0.54	石器1(縄文)	縄文/写42
	土坑11	楕円	1.50	1.08	0.34	土器(中期末~後期前半)、石器1(旧石器)	縄文/写42
	土坑12	楕円	1.22	1.04	0.32	土器(堀之内式)、石器1(縄文)	縄文/土坑13を切る/写43
	土坑13	円	1.16	(1.12)	0.36	土器(中期末~後期前半)	縄文/土坑14を切り、土坑12に切られる/写43
	土坑14	円	(1.26)	1.23	0.72	土器(中期末~後期前半)、石器1(旧石器)	縄文/土坑13に切られる/写43
	土坑15	円	1.10	0.96	0.56	土器(中期末~後期前半)、石器1(縄文)	縄文/写43
87	土坑17	楕円	1.48	1.16	0.52~0.76	土器1(後期)、石器2(縄文)、石製品1	縄文/写43
	土坑18	—	(0.82)	—	0.70	—	縄文/写43
	土坑19	円?	1.12	(1.04)	0.56	土器(中期末~後期前半)、石器1(縄文)	縄文/写44
	土坑20	楕円	1.24	1.04	0.60	—	縄文/写44
	土坑22	楕円	2.18	1.24	0.40	—	縄文/写44
	土坑23	円	1.40	1.29	0.96	土器(中期末~後期後半)、礫2(縄文)、石器1	縄文/写44
	土坑25	瓢箪形	1.52	0.92~1.16	0.20~0.36	—	縄文
89	土坑29	円	1.50	1.40	0.32	土器	縄文/写45
	集石土坑1	方形	1.95	1.43	0.18~0.25	土器(堀之内I式)、礫2(縄文)	縄文/写45
	集石土坑2	不整形	1.70	1.56	0.18~0.42	—	縄文/写45
90	集石土坑3	楕円	0.73	0.29	0.12	土器(中期末~後期初頭)	縄文/写45
	集石土坑4	楕円	0.89	0.51	0.11	土器(中期末~後期後半)	縄文/写45
	集石土坑5	円?	1.18	—	0.75	土器(中期末~後期初頭)、石器3(縄文)	縄文/写46



0 10 20m

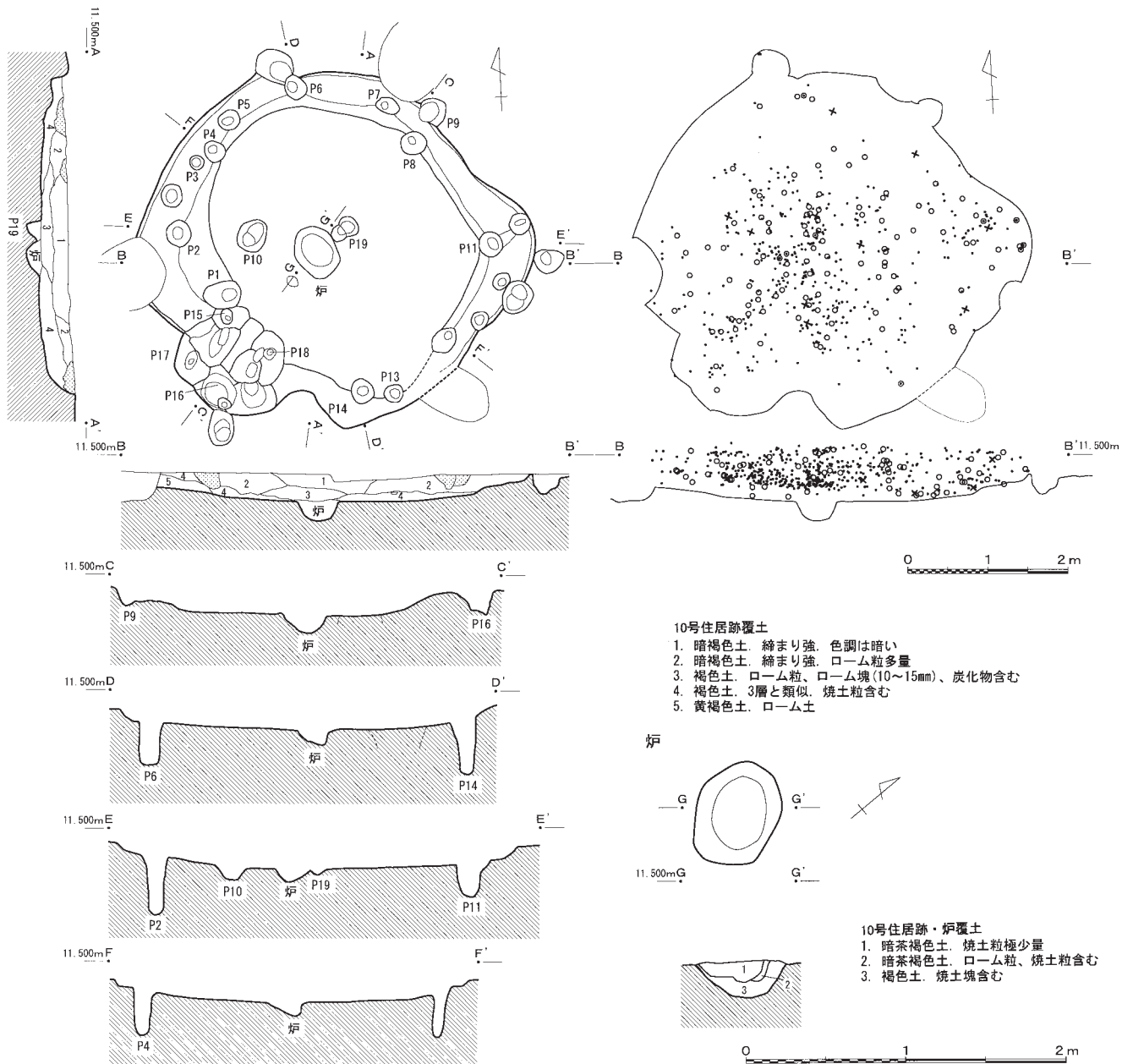
第80図 苗間東久保遺跡第19・20地点旧石器時代の石器・礫（上）・縄文土器（下）出土分布図（1/300）



0 10 20m

第81図 苗間東久保遺跡第19・20地点縄文石器（上）・礫（下）出土分布図（1/300）

10号住居跡



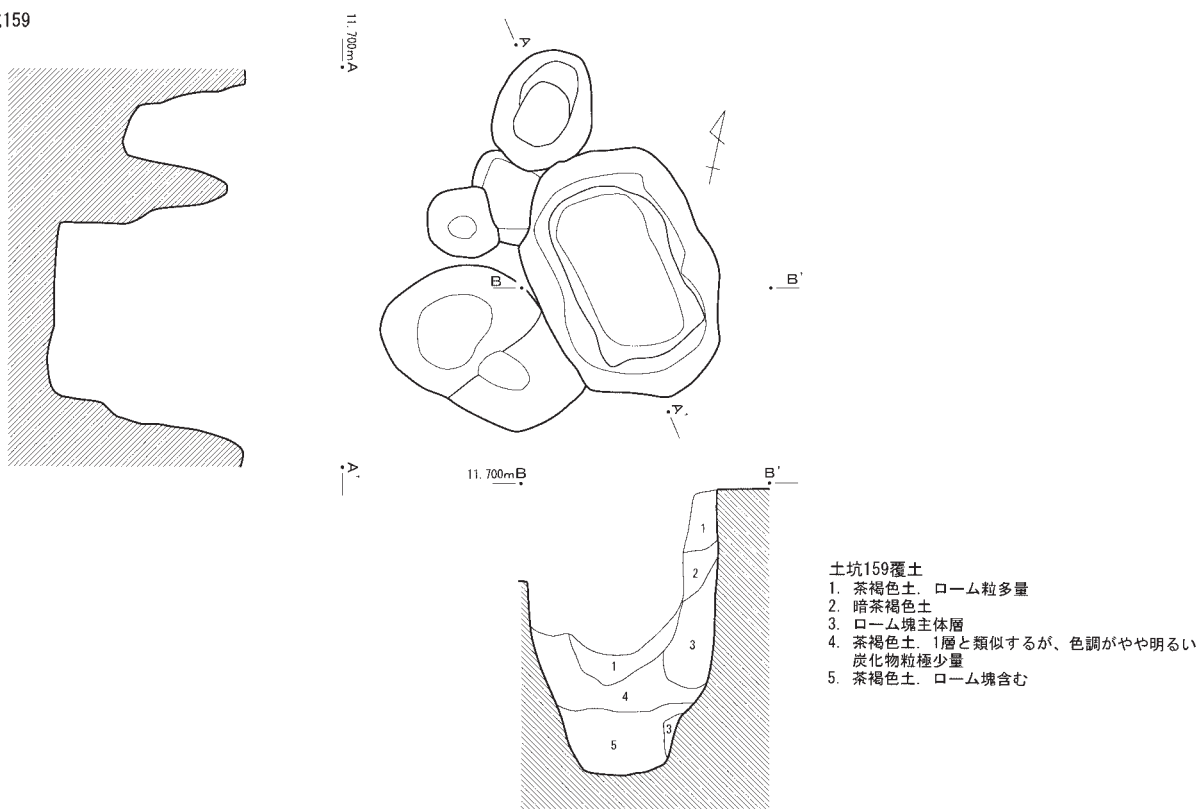
第82図 苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡 (1/80・1/40)

第33表 苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡内 ピット一覧表

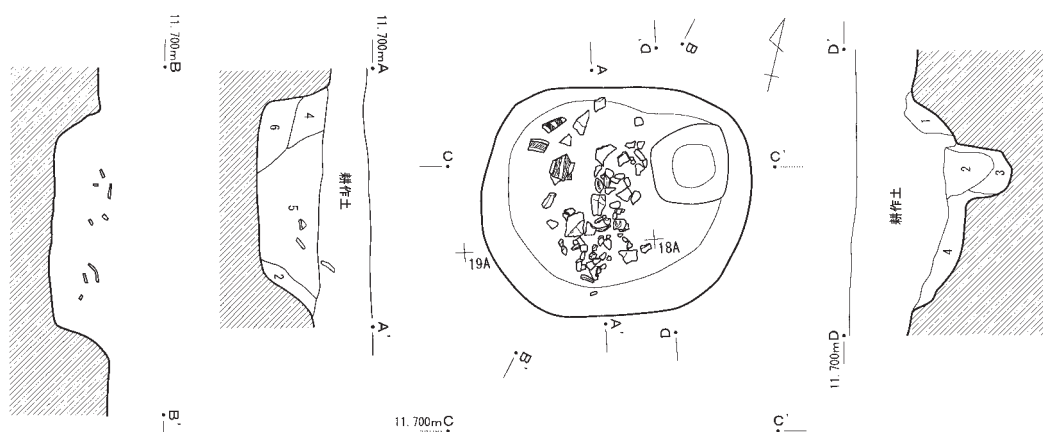
() は残存値

No.	形態	確認面径 (cm)	底径 (cm)	深さ (cm)	備考
1	橢円形/掘鉢状	47×34	20×15	19	
2	円形/筒状	33×30	15×13	76	
3	円形/掘鉢状	18×18	11×10	12	
4	橢円形/筒状	27×24	10×10	61	
5	橢円形/筒状	27×24	15×9	30	
6	橢円形/掘鉢状	30×25	15×12	24	
7	橢円形/掘鉢状	29×19	10×10	22	
8	円形/筒状	31×28	10×8	68	
9	不定円形/掘鉢状	36×35	27×22	17	
10	橢円形/掘鉢状	42×36	34×14	17	
11	円形/筒状	31×29	17×11	40	
12	—	—	—	—	欠番
13	橢円形/掘鉢状	24×20	12×11	16	
14	橢円形/筒状	30×27	13×12	73	
15	不定円形/筒状	46×(25)	20×14	60	対ビット
16	不定円形/有段	(48)×(47)	17×14	46	対ビット
17	不定円形/掘鉢状	(48)×(38)	23×13	45	対ビット
18	橢円形/筒状	68×(41)	15×15	55	対ビット
19	瓢箪形/掘鉢状	(36)×25	21×16	17	

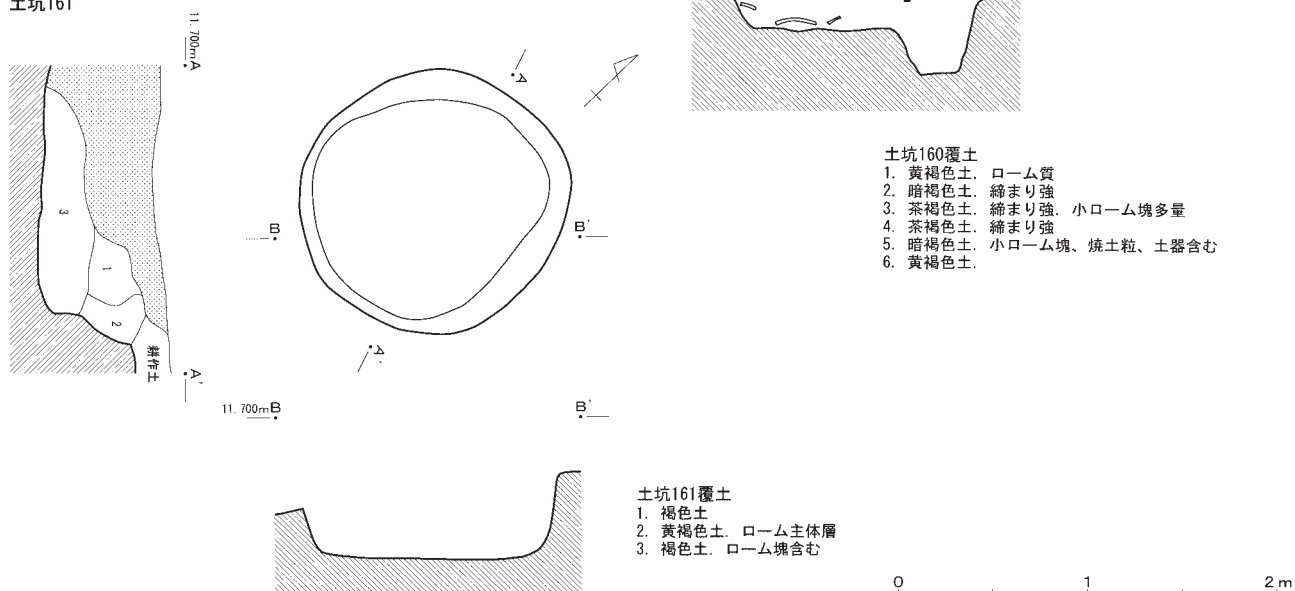
土坑159



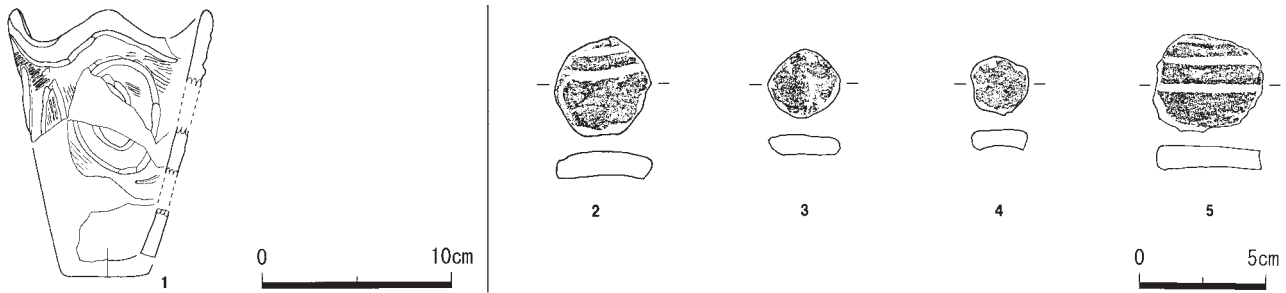
土坑160



土坑161



第83図 苗間東久保遺跡第19地点土坑159～161 (1/40)



第91図 苗間東久保遺跡第19地点出土遺物① 縄文土器・土製品 (1/4・1/3)

第34表 苗間東久保遺跡第19地点出土遺物観察表① 縄文土器・土製円盤

備考欄の写番号は写真図版番号

図版 番号	遺物 番号	出土地	種別・器種	単位cm 長径 短径 口径	推定* 底径 器高	残存() 厚さ (13.5)	重量 (g)	観察所見	推定年代	残存/備考
91	1	土坑160	縄文土器・深鉢	10.5	—	—	—	磨消縄文/波状口縁	縄文後期	口縁胴部残存/写66
	2	10号住居跡	縄文土器・土製円盤	4.0	3.9	0.9	14.7	横位に沈線施文	縄文	胴部破片/写66
	3	E 0	縄文土器・土製円盤	2.9	2.7	0.9	7.0	無文	縄文	胴部破片/写66
	4	E 6	縄文土器・土製円盤	2.2	2.1	0.7	4.0	無文	縄文	胴部破片/写66
	5	E 12	縄文土器・土製円盤	4.8	4.0	1.0	18.5	横位に沈線施文	縄文	胴部破片/写66

第35表 苗間東久保遺跡第19地点出土遺物観察表② 縄文石器

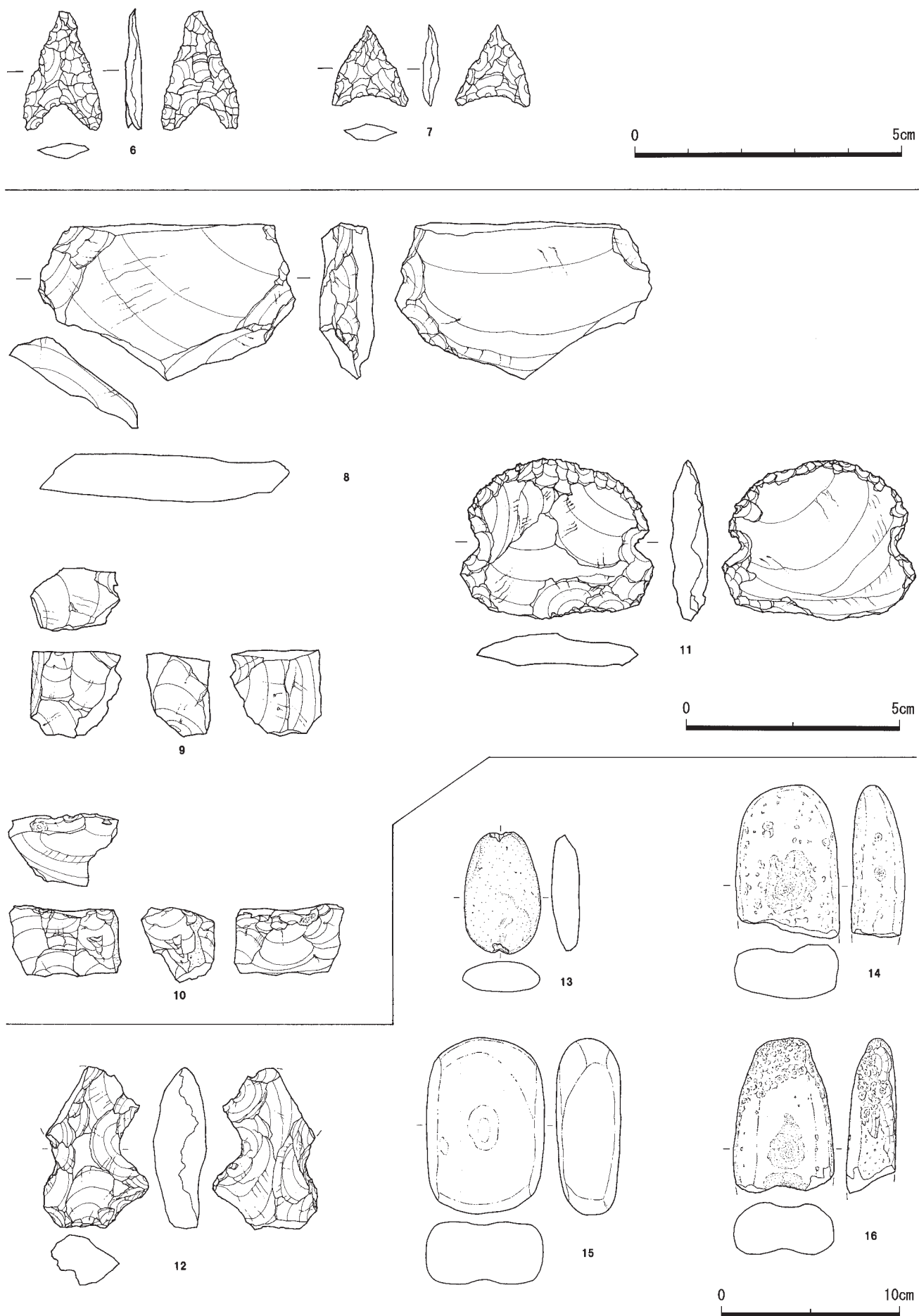
< >は残存値、備考欄の写番号は写真図版番号

図版 番号	遺物 番号	出土地	器種	石材	遺存 部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	備考
92	6	包含層	石鏃	黒曜石	A	2.2	1.4	0.3	0.7	写66
	7	包含層	石鏃	チャート	A	1.5	1.4	0.3	0.5	写66
	8	P28	R F	頁岩	C 2	<3.7>	5.9	1.0	30.6	スクレイパーか/写66
	9	包含層	石核	チャート	A	1.8	2.0	2.2	7.5	写66
	10	10号住居跡	石核	黒曜石	A	1.9	2.5	1.7	5.9	写66
	11	包含層	石匙	チャート	A	3.8	4.5	0.8	14.7	写66
	12	包含層	打製石斧	ホルンフェルス	B 1	<9.0>	<5.7>	2.3	126.9	分銅形、製作途中で破損した未成品/写66
	13	P32	石鏃	砂岩	A	6.7	4.3	1.5	71.4	写66
	14	P18	磨石	閃緑岩	C	<8.6>	5.8	2.9	196.0	写66
	15	P24	磨石	閃緑岩	A	9.9	6.7	3.5	429.8	写66
	16	10号住居跡	磨石	緑色凝灰岩	C	<8.7>	5.7	2.8	250.9	磨製石斧転用/写66

第36表 苗間東久保遺跡第20地点出土遺物観察表① 旧石器・縄文石器

< >は残存値、備考欄の写番号は写真図版番号

図版 番号	遺物 番号	出土地	器種	石材	遺存 部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	同個 No.	備考
93	17	土坑14(N3)	ナイフ	頁岩	A	2.5	1.3	0.7	1.8		旧石器/写66
	18	L 7	R F	黒曜石	A	1.4	1.6	0.2	0.6		旧石器/写66
	19	縄文包含層(G6)	R F	頁岩	A	3.8	2.8	0.6	4.9	L-5	旧石器/写66
	20	H 6	R F	頁岩	B 1	<7.2>	<5.8>	0.8	30.4		旧石器/写67
	21	H 6	R F	頁岩	A	7.4	5.0	1.4	34.6	L-3	旧石器/写67
94	22	H 5	石核	頁岩	A	3.7	4.3	2.3	32.6	L-7	旧石器/写67
	23	—	R F	ホルンフェルス	A	4.1	4.5	1.7	29.1	L-6	旧石器/写67
	24	H 6	石核	ホルンフェルス	A	4.3	5.3	3.5	76.6	L-6	旧石器/写67
	25	礫群1(L3)	石核	頁岩	A	4.0	5.2	4.0	87.8	L-4	旧石器/写67
95	26	I 5	石核	黒曜石	A	2.3	1.2	1.0	2.6		旧石器/写68
	27	礫群1(L3)	石核	チャート	A	3.2	6.2	3.0	63.2	L-9	旧石器/写68
	28	H 6	石核	頁岩	A	7.9	4.3	2.4	38.5	L-3	旧石器/写68
		—	石核	頁岩	A				21.6	L-3	旧石器/写68
96	29	集石5(M2)	石鏃	チャート	A	2.0	1.4	0.3	0.6		縄文/写68
	30	P191(G8)	石鏃	頁岩	A	1.9	1.3	0.3	0.5		縄文/先端衝撃剥離/写68
	31	縄文包含層(K4)	石鏃	黒曜石	A	1.7	1.6	0.3	0.4		縄文/写68
	32	土坑23(S7)	R F	チャート	A	2.3	2.1	0.6	3.1		縄文/写68
	33	—	R F	チャート	A	2.8	1.8	0.8	3.0		縄文/写68
	34	P90(H3)	R F	チャート	A	3.3	3.7	1.3	17.2		縄文/スクレイパーか/写68
	35	—	R F	チャート	A	2.9	3.7	1.0	11.3		縄文/写68
	36	縄文包含層(P9)	打製石斧	ホルンフェルス	C 2	<11.4>	<6.6>	1.7	149.3		縄文/写68
	37	3トレンチ	打製石斧	ホルンフェルス	A	9.5	6.2	2.1	124.3		縄文/刃部破損/写68
	38	—	打製石斧	頁岩	B 2	<6.3>	4.3	1.7	59.7		縄文/写68
	39	2トレンチ	R F	砂岩	A	8.7	9.3	2.4	168.5		縄文/写68
97	40	土坑17(L4)	石皿	安山岩	E	<7.6>	<7.3>	<5.3>	300.5		縄文/再生意図あり/写68
	41	P133(L2)	磨石	閃緑岩	A	7.8	6.8	5.7	424.4		縄文/写68
	42	土坑2	磨石	石英閃緑岩	C	<7.4>	7.2	3.7	250.3		縄文/写69
	43	縄文包含層(K4)	磨石	砂岩	A	12.0	5.8	3.8	498.2		縄文/部分的に敲石/写69
	44	縄文包含層(G3)	敲石	砂岩	A	5.9	2.7	2.0	43.2		縄文/部分的に磨面顕著/写69
	45	縄文包含層(I4)	石鏃	砂岩	A	8.0	3.1	1.5	51.3		縄文/写69
	46	—	石鏃	頁岩	A	8.2	3.7	1.7	61.8		縄文/写69
	47	縄文包含層(F9)	石鏃	ホルンフェルス	A	9.2	5.0	1.3	83.9		縄文/写69



第92図 苗間東久保遺跡第19地点出土遺物② 縄文石器 (1/1・4/5・1/3)



浄禅寺跡遺跡第10地点調査風景



浄禅寺跡遺跡第10地点調査風景



苗間東久保遺跡第19地点全景



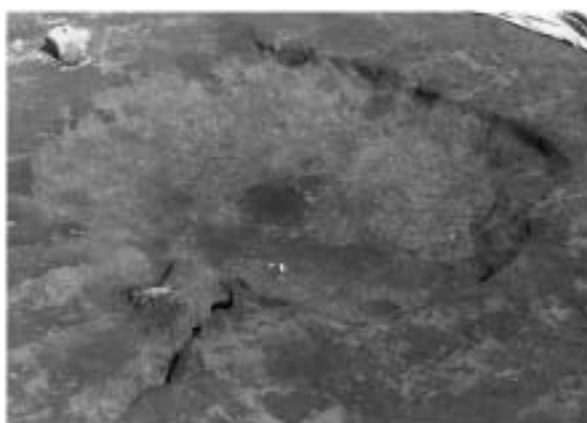
苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡P1・P15～P18



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡炉内遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡



苗間東久保遺跡第19地点近景



苗間東久保遺跡第19地点土坑160遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点土坑160



苗間東久保遺跡第19地点土坑161(上)・162(手前)



苗間東久保遺跡第19地点土坑162



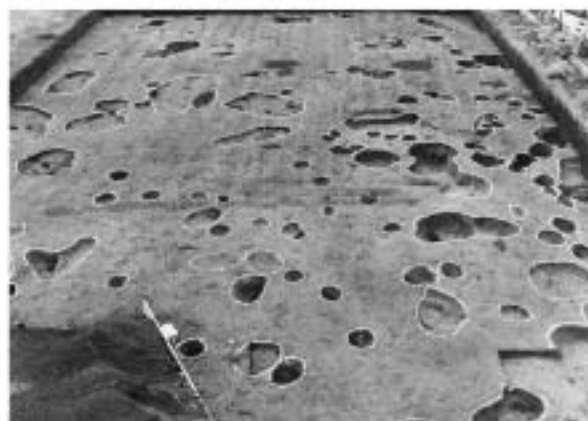
苗間東久保遺跡第19地点土坑164



苗間東久保遺跡第19地点土坑164



苗間東久保遺跡第20地点調査区全景



苗間東久保遺跡第20地点近景



苗間東久保遺跡第20地点近景



苗間東久保遺跡第20地点近景

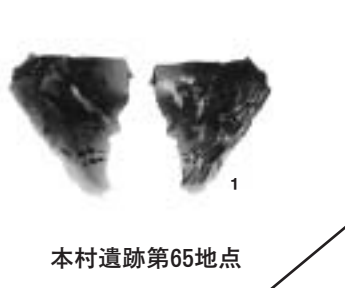


苗間東久保遺跡第20地点深掘り区3



苗間東久保遺跡第20地点ブロック2 遺物出土状況

苗間東久保遺跡第19地点



本村遺跡第65地点



2

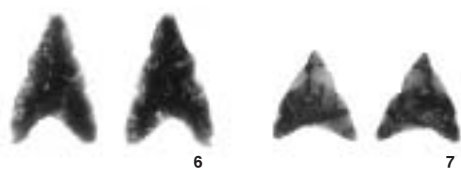
3



4



5

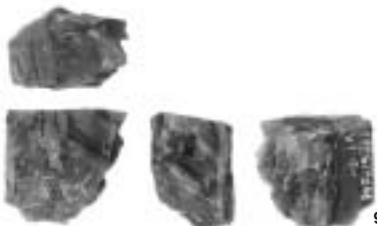


6

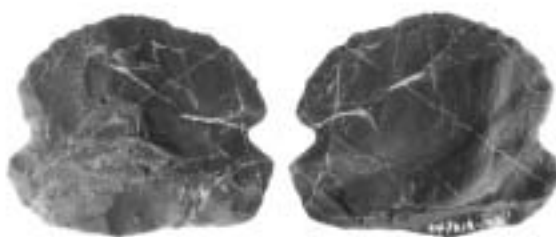
7



8



9



11



10



12



14



15



16

苗間東久保遺跡第20地点



13



17



18



19